

- 【知識及び技能】論理的な文章や実用的な文章を的確に理解し、文章の構造や論理の展開、言葉の働きに関する基礎的な知識・技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】文章の内容や構成、論理の展開を基に、課題について多面的に考察し、自分の考えを論理的に形成・表現する力を育てる。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉や情報を通して社会や他者と向き合い、課題意識をもって自分の考えを深めようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
筆者の主張と根拠、段落構成、論理の展開(因果・対比・具体と抽象など)を理解できる。 語句・指示語、接続語・要約表現など、論理展開を支える言語要素を適切に捉えている。 情報の信頼性や妥当性を意識しながら、文章を正確に読み取るための技能を身に付けている。	文章の要点や論拠を整理し、論理の妥当性を判断できる。 複数の文章や資料を関連付け、比較・統合しながら考えを深めている。 読み取った内容を基に、意見文・要約・発表などで論理的に表現できる。	扱うテーマや社会的課題に関心をもち、主体的に文章に向き合おうとしている。 自分の考えを見直し、よりよい表現や理解を目指して学習を調整しようとしている。 他者の考えや多様な価値観を踏まえ、対話的に学びを深めようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学期	A 単元「朝いつなり」葉詠吉 【知識及び技能】 論理的な文章の構成や論の展開の仕方を理解し、筆者の主張と根拠、用いられている概念や語句の働きを的確に捉える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の論理構成を踏まえ、筆者の主張の妥当性や意義について考察し、自分の考えを根拠を明確にして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会における人間関係や情報との関わり方を自分自身の問題として捉え、課題意識をもって文章に向き合おうとする態度を養う。	・指導事項 「朝いつなり」「強いつなり」など、本文中の重要概念の意味の把握。文章全体の構成(問題提起-具体例-主張)の理解。 具体例(SNS・人間関係)と主張との関係の整理。指示語、接続語に着目した論理展開の把握。 「朝いつなり」がなぜ現代社会で重要だとされているのかの考察。筆者の主張に対する賛否や評価を、本文を根拠にして検討。 自分自身の経験や他の事例と本文内容を関連付けた考察。 他者の意見を踏まえ、自分の考えを見直す学習活動。 要約・意見文・話し合いによる論理的表現 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用等	○	○	○	○	・文章構成や重要概念を正確に理解し、主張と根拠の関係を的確に捉えている。 ・本文を根拠に主張の意義や妥当性を多面的に考察し、自分の考えを論理的に表現している。 ・本文の内容を自分の生活や社会と結び付け、主体的に考えを深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1	
1 学期	B 単元「未来世代への責任」岩井克久 【知識及び技能】 論理的な文章の構成や論の展開を理解し、筆者の主張と根拠、用いられている概念や語句の働きを的確に捉える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の論理構成を踏まえ、筆者の主張の意義や妥当性について考察し、現代社会の課題と関連付けて自分の考えを論理的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の持続可能性や公共性の問題を自分自身の課題として捉え、将来世代との関わりを意識しながら主体的に学習に取り組もうとする態度を養う。	・指導事項 「未来世代」「責任」「制度」など、重要概念の意味理解 問題提起-具体例-主張という文章全体の構成把握。現代社会の制度(経済・環境・政治など)と論の関係整理。なぜ「未来世代」が責任の主体として問題になるのかの考察。環境・問題・財政・社会制度など、具体的事例との関連付け。要約・意見文・話し合いによる論理的表現活動。社会制度や将来への影響について考えようとする姿勢。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用等	○	○	○	○	・重要概念と文章構成を正確に理解し、主張と根拠の関係を的確に捉えている。 ・本文を根拠に主張の意義や課題を多面的に考察し、自分の考えを論理的に表現している。 ・未来世代の問題を自分事として捉え、主体的に考えを深めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○		1	
2 学期	C 単元「チェックポイント 文章を読み探める」(「ここ」を題材として) 【知識及び技能】 近代小説としての表現や構成上の特徴を理解し、語りや人物間の関係、叙述の工夫を支えるための基礎的な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 人物の言動や語りを根拠に、先生の内面や葛藤、作品の主題について多面的に考察し、自分の考えを論理的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の生き方や葛藤を自分自身の問題として捉え、人間関係や自分の在り方について主体的に考えようとする態度を養う。	・指導事項 語りや人物に表れる心理表現(沈黙・反復・比喩など)の理解 明治末期という時代背景と、近代自我の問題の把握。 「エゴイズム」「責任」「近代人の孤独」などの主題把握。 本文を引用・要約しながら記述・話し合いによる表現活動。 他者の読みや意見を通して、自分の考えを見直す学習活動。 振り返りによる視点・価値観の更新。 評価基準 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用等	○	○	○	○	・構成や語りの特徴を的確に理解し、叙述の工夫を本文に即して捉えている。 ・叙述を根拠に人物の葛藤や主題を多面的に考察し、自分の解釈を的確に表現している。 ・人物の葛藤を自分事として捉え、主体的に問いを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1	
2 学期	D 単元「国境を超える言葉」長田弘 【知識及び技能】 思想的・詩的な文章の構成や表現の特徴を理解し、筆者の主張や思想の働きを支える語句・表現の働きを的確に捉える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の表現や事例を根拠に、言葉が人と人、世界をつなぐ意味について考察し、自分の考えを適切に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉と他者、世界との関わりについて自分自身の問題として捉え、言葉の力や可能性について主体的に考えようとする態度を養う。	・指導事項 詩的表現(比喩・反復・問いかけ)や語り口の特徴の理解。 具体的な経験・事例と抽象的な思想との関係の整理。「言葉が国境を超える」とはどのようなことかの解釈。筆者が言葉に託している価値や願いの読み取り。自分の経験や他の作品、社会的現象との関連付け。異なる文化・価値観と言葉の関係について考えようとする姿勢。他者の考えに触れ、自分の見方を深める学習活動。 振り返りを通じた価値観・言葉観の更新。 評価基準 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用等	○	○	○	○	・表現の特徴や語句の働きを的確に捉え、文章の構成と主張を正確に理解している。 ・本文を根拠に主題を多面的に考察し、自分の考えを的確に表現している。 ・言葉の持つ力や可能性を自分事として捉え、主体的に問いを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1	
3 学期	E 単元「チェックポイント 文章を読み探める」(「山月記」を題材として) 【知識及び技能】 近代小説としての表現や構成上の特徴を理解し、語りや人物間の関係、叙述の工夫を支えるための基礎的な知識・技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 人物の言動や語りや根拠に、先生の内面や葛藤、作品の主題について多面的に考察し、自分の考えを論理的に表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の生き方や葛藤を自分自身の問題として捉え、人間関係や自分の在り方について主体的に考えようとする態度を養う。	・指導事項 エリス・官僚社会・留学経験など、作品理解に関わる明治期の時代背景を基礎知識として押さえさせる。漢語の表現や文語的表現の活用を含む文章について、語句の意味や文脈上の働きを理解させる。「功名」「名譽」「責任」といった価値の対立を捉え、豊太郎の判断の是非や限界について自分自身の考えをもっている。幸福/国家/個人という視点から、複数の読み可能性として捉えている。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用等	○	○	○	○	・回想形式の語りや時代背景を理解し、作品理解に活用している。 ・豊太郎の葛藤と選択を根拠に、主題を多面的に考察し、論理的に表現している。 ・人生の選択や責任の問題として主体的に考え、他者の意見も踏まえて学習している。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1	
3 学期	F 単元「野生の『クワン』を人間の『顔』に開く」 【知識及び技能】 文章の構成や対比の方法を理解し、筆者の主張を支える事実・事例・言葉の使い分けの働きを的確に捉える力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の対比構造を踏まえ、人間の自然観や文化の在り方について多面的に考察し、自分の考えを根拠を明確にして表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 自然や他文化に対する人間の見方を自分自身の問題として捉え、多様な価値観を尊重しながら主体的に考えようとする態度を養う。	・指導事項 野生の存在と文化・社会的存在としての捉え方の対比構造。 具体例(自然・文化・視点の違い)と主張との関係整理。段落構成や論の展開(提示-対比-問題提起-主張)の把握。野生の存在を人間がどう捉えてきたかという視点の検討。筆者の主張に対する賛否や別の見方の検討。本文を根拠にした意見文・話し合いによる表現活動。自然・文化・価値観の違いに目を向けようとする姿勢。他者の意見を通して自分の考えを見直す学習活動。 振り返りによる視点・価値観の更新。 ・教材 教科書、国語便覧など ・一人1台端末の活用等	○	○	○	○	・対比構造や語句の使い分けを的確に理解し、主張と事例の関係を正確に捉えている。 ・本文を根拠に自然と人間の関係を多面的に考察し、自分の考えを論理的に表現している。 ・自然と人間の関係を自分事として捉え、多面的に考えを深めようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1	

定期考査									○	○		1
											合計	
											70	